

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 高橋美佐	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・コールセンターの性能解析のための混雑現象のモデル化と数値解析 (研究) 前年度からの継続研究で、コールセンターのインバウンド業務で計測された統計データと解析モデルに基づくシミュレーション実験結果の分析をおこなった。解析モデルの精度を高めるために、客のサービス要求の発生の時間変動を扱う非定常到着モデルに関連した既存の研究結果の調査と基本理論の学習をおこない研究の進展に努めた。・周遊型観光行動のモデル化 (研究) 1回の旅行で複数の観光地をまわる周遊型観光に関する空間行動のモデル化をおこない、適用対象例の北海道のツーリング旅行に関するデータを収集し、予備実験をおこなった。 提案モデルは、都市解析の分野で研究されている空間行動モデルの一種の回遊行動モデルの考え方(空間相互作用と立寄り先選択のトリップ連鎖)をベースにしている。回遊行動とは、駅前商店街等の商業集積地や大型商業施設などでみられる買い物客が複数の店舗を渡り歩く、多用事・多立寄りの特徴とする行動である。買い物行動と異なり観光は非日常の活動であり、1トリップ(観光エリア内の訪問地間の移動)が広域におよぶため対象エリアや移動の広域性を考慮したモデル化が必要である。予備実験では、ある程度モデルの妥当性を確認できたが、いくつかの課題も明らかになった。次年度は、モデル改良をおこない研究成果として学会報告する予定である。・学部新カリキュラム(情報分野)への移行・運営と課題報告(教育) 学部の新カリキュラムが本年度よりスタートし、情報統計分野では「情報基礎1」科目が1年生対象の必修科目として位置付けられたため、新しい科目運営体制をたちあげ担当教員との連絡調整など円滑な運営に努めた。また、新入生の情報リテラシーおよび1年目の学習状況について調査をおこない、教員間の情報共有を図るために学部FDにおいて報告した。	
2 その他の事項	